



Big Ben Falls Silent

ビッグベン、時計塔の改修で4年間の沈黙へ



ロンドンの観光名所となっているビッグベン



次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- ビッグベンは何年前からありますか。
- ビッグベンの重さはどれくらいですか。
- ビッグベンはどこに位置していますか。



精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード (7) で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。

必要ならゆっくりスピード (ポーズ入り (8) / ポーズなし (9)) も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する (反訳練習)。



キーワード

atop of [ətɒp]	~の上に、頂上に
in (all) one's glory [ɪn'ɔ:lri]	全盛で、得意の絶頂にあって
extensive [ɪk'stɛnsɪv]	大規模な
fall silent [fɔ:l'saɪlənt]	沈黙する、黙り込む
renovation [renə'veɪʃən]	修理、改装

ナチュラルスピード
7

ナチュラルスピード

イギリス英語

ゆっくりスピード
9

ゆっくりスピード (ポーズなし)

アメリカ英語

Big Ben Falls Silent

So, there you have it—Big Ben, 158 years old, weighing 13.7 tons, that bell, sitting atop of the Elizabeth Tower, [as] you can see there in all its glory, at the Palace of Westminster. But 158 years on, it is in need of extensive **repairs**—the entire clock tower—and so Big Ben will fall silent now for up to four years while those renovations and **repairs** are under way at the Palace of Westminster. >>>76 words (August 21, 2017)

ビッグベン、時計塔の改修で4年間の沈黙へ

そう、次はこれだ——ビッグベンが鳴り始めて158年。重さ13.7トンのこの鐘は、ウェストミンスター宮殿のエリザベスタワー（時計塔）のてっぺんに、ご覧のとおり、堂々と鎮座している。だが、（設置から）158年の時がたち、大規模な改修工事が必要となった——時計塔全体のだ。そこでビッグベンは、ウェストミンスター宮殿で（時計塔の）改装・改修工事が行われる間、最長で4年間沈黙することになる。（訳 石黒円理）

**リスニングの
ポイント**

最近のイギリス英語では、**【エア】**のように聞こえる二重母音が、しばしば長母音で発音される。

3行目と最終行の**repairs** >>> **【リベーズ】**

repairsの-pairsの部分の母音は、本来は**【エア】**のように聞こえる二重母音ですが、最近のイギリス英語では、**【エー】**と**【アー】**の間くらいの響きにする長母音で発音されるようになりました。ほかに、careが**【ケー】**のように、hairが**【ヘー】**のように、rareが**【レー】**のように聞こえます。rarelyは、**【レーリー】**と**【ラーリー】**の間くらいの響きになりますので、rallyと聞き間違える可能性があります。また、airportは、**【エーポート】**と**【アーポート】**の間くらいの響きになりますので、最後にある[t]が聞こえない場合、appleと聞き間違える可能性があります。同様に、本来は**【イア】**のように聞こえる二重母音が、最近のイギリス英語では、bigやmissの母音（**【イ】**と**【エ】**の間くらいの響きをする短母音）を長く伸ばした感じで発音されることがあります。その場合、ideaが**【アイディー】**のように、hereが**【ヒー】**のように聞こえます。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）